安登にお住まいの山中道三さんは、第62回全国書の友書道展覧会(平 成26年3月)において、外務大臣賞を受賞されました。大きな賞はこ れが初めてだそうです。さぞかし、若い時から書に親しんでおられたと 思いましたが、始めたのは、定年後しばらくして70歳を過ぎた頃から だとか。ボケ防止に何かしなくてはと考えていたところ、公民館活動の

山中道三さん (92歳) 教室を知り、書道の道へ。書道教室(さざなみ会)の先生は「70 過ぎ

から始めてちゃんと付いてこれるかしら?」と心配だったと当時 を振り返ります。山中さんも、「しばらく、『いろは…』ばかり何 回も書かされた」と。それでも諦めず今日まで頑張って、大きな 賞の受賞となりました。

今回の受賞作は「かな短歌」ですが、好きなのは「漢字」 だそうです。教室の先生や生徒さんたちに聞くと、「人柄が 出てとても暖かい字だ」と評判です。これからも「暖かい 感じのいい漢字」で受賞を期待したいですね。



賞状を手に



外務大臣賞作品



全国大会で活躍する

やったら おやじバンド! NHK のオヤジバトル全国大会

2003年に結成しヒット曲のカバーを中心に活躍中のバンド「ヒット&ラン」のメ ンバーで、ボーカルの宇山里歌さんと、ベースの上田 靖さんが今年2月、福岡県 で行われた「NHK 第 17 回熱血!オヤジバトル全国大会」へ出場。結成 10 周年を 記念してエントリーしたのがきっかけで、西日本ブロックの予選インターネット投

票で見事「1位」に輝き.全国 235 組の中から7組が出場。北九州ソレイユホールの大舞台で決戦ライブの収 録を行いました。収録中は、今までに味わったことのない緊張感の中でも楽しく演奏したようです。安浦町文

化祭で、上田さんはバンド出演、宇山さんは司会者として関わり、 安浦では知る人ぞ知る存在。「バンド活動は若者というイメージ が強いですが、年は関係ありません。オヤジだって青春まった だ中!」と、若いみんなも一緒に参加して活動を盛んにすれば 安浦はもっと元気になると、熱い思いを語ってくれました。

クレイトンベイホテルでステージを開催します【7月 12日】



呉大会や瀬戸内カップなど出場し、現在なんと身長は 183cm。

鍵平智一君(15歳)は、安浦中学校バスケット部で活躍する中学3年生。 小学3年生の時に「安浦フェニックス」の入部をきっかけに経験を積み重ね、

昨年10月の大会でコンディションが悪く活躍出来なかったのに、広島県選抜チー ムに選ばれ本人も信じられなかったそうです。都道府県対抗の全国大会で広島県 は16位。「地方大会より雰囲気・熱気・迫力が違った!」「リバウンドボールを

取る時のジャンプ力やパ ワーの違いを感じた! と改めてレベルの高さを 痛感したそうです。

全国大会の経験を活かして.「安中バスケ部 の仲間と呉市総体で優勝を目標にいい思い出を 作りたい」と最後の中学校生活に情熱を燃やし ています。レベルアップして将来は、日本を背 負うトッププレーヤーに期待大の鍵平君です!



安中バスケ部メンバー(前列左から2番目が鍵平君)

まちづくり情報誌

TANT



石碑で地名を後世に残す

まちしるべ事業

まちづくり協議会が始めた「ま ちしるべ石碑」。地名(字名)の歴 史・伝承・特色などを石碑に刻み 後世に伝える事業です。安登地区 からスタートし、平成25年度は野 路地区の10箇所に設置しました。 自治会の協力で各地区の地元の人 がガイドする歴史探訪を開催した 後、碑文を考えて完成した石碑を 地域住民も参加して設置しました。

郷土の安浦を再認識しながら石



















下垣内地区【県道34号沿い朝市橋



女子畑地区 【旧野路東小消防屯所前】

おでかけ情報

O) 4 10 / 113 11A			
6	安浦のホタル	6月初旬~中旬 野呂川沿い(原畑・	市原)がお薦め
V-E	きらめき音楽館		11:00 ~ きらめきホール
	いなし安浦青空市	6月21日(土)	8:00~

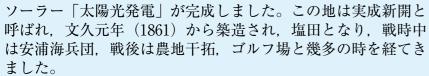
七浦海水浴場海開き 7月5日(土) きらめき音楽館 7月12日(土) 14:00~ 入場料:1,000円(中学生以下500円) きらめきホール 7月19日 (土) 8:00 ~ いなしふれあい広場

きらめき音楽館 11:00~ きらめきホール 安浦夏祭り いなし安浦青空市 8月16日(土) 8:00~ いなしふれあい広場 9月20日(土) 8:00~ いなし安浦青空市 いなしふれあい広場 きらめき音楽館 9月20日(土) 11:00~ きらめきホール



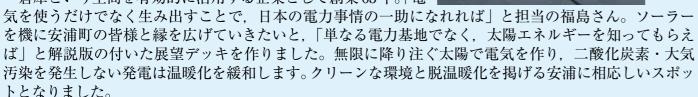
安浦産業団地に脚光 実成新開に メガソーラーが 完成!

三津口エリアの広大な土地 「県営安浦産業団地」にメガ



東京に本社を置く「寺田倉庫(株)」が建設。面積10万㎡の 敷地に 51.680 枚のパネルを設置。年間発電量 1.100 万 kwh で 中国地方最大の規模を誇ります。家庭に例えると、安浦町世帯 の半分、約2.000戸の年間電力量を生み出します。

倉庫という空間を有効的に活用する企業として創業63年。「電



寺田倉庫株式会社【昭和25年創業】本社:品川区東品川2-6-10

倉庫という「スペース」に付加価値をつけ生活ニーズを先取りし、プレミア ムストレージ事業としてワインや絵画・貴重品などを保管するサービスから、 お客様の大事な物をダンボール1つから預かる【minikura】を展開。また、品 川の運河沿いの倉庫をリノベーションしたレストランなど幅広く行っています。





福島隆顕さん ティー・ワイ・ハーバー (品川)

展望デッキの解説版

5月23日(金)、安登小学校の3・4年生児 童48名で、ひまわりの種まきを行いました。 安浦町まちづくり協議会の休耕田活用「ええ とこ村プロジェクト」の一環。

場所は安登岡谷地区の国道沿い。15アール に2種類の種をまき、8月上旬に花が咲き見頃 を迎えます。児童たちは「作業は大変だった けど、咲いたら友達と見に行きたい」と充実 感でいっぱい。沿道を行き交う人々や車窓か ら目を楽しませてくれるでしょう。





■まちづくり広報誌の発行

メガソーラー全景

まちづくり情報誌「TANTO」を年4回発行します。

■まちしるべ石碑事業

後世に残る町の由来・特色など石碑を設置します。

神明祭「とんど」にもち米の助成、盆踊りの調査研究をします。

公共施設などにゴーヤ・朝顔等の資材を配布します。

■エコツーリズム活動

自然観察会、環境保護活動を行います。

一般参加によるまちのフィールドワークや先進地研修を行います。 ■ええとこ村プロジェクト事業

休耕田を活用し、花や農作物を栽培しふれあいを創出します。

夏祭り・ええとこ祭り・かき祭り等イベントに助成します。 ■ホームページ運

ホームページやブログで皆様に旬な情報をお知らせします。







安浦町まちづくり協議会 山田 ☎84-2261



初代から2代目、3代目へ 受け継ぐ醤油づくり



うどん店でも知られる「やまき醤油 蔵」。酒づくりの杜氏だった初代の木 崎新一さんが昭和2年,三津口で創業。 麦を多めに仕込む瀬戸内独自の甘口醤 油が特徴で87年の伝統と味を受け継 いでいます。昭和36年に、旧三津口 小校舎の材料を移築し醸造蔵を完成。 現在はうどん店となっていますが、当 時の樽などが飾られています。現在は 3代目の木崎秀樹さん(46歳)が三津 初代の新一さん(右)と2代目の宣昭さん(左) 口谷の工場で味を継承しています。

「醤油づくりは春に仕込み翌年の春



目の木崎宣昭(75歳)さん。全国品評会で受賞したことなど当時を振り返 ります。昭和59年、醤油をベースに「うどん店」を創業。現在は2店舗(安浦・東広島)となってい ます。「麹を使った新たな商品と、地域の人に納得してもらえる醤油づくりに励みたい。」と宣昭さんは 力強く語ってくれました。

安浦で唯一の醤油蔵。これからも活躍が期待されるやすうら老舗ブランドです。

に絞って出荷。行程は一年以上かかり、温度管理が大変でした。」と2代



創業からの味「瀬戸のあまくち醤油」



当時の仕込み樽と天井には旧三津口小校舎 の梁が圧巻です (安浦店)



安浦駅周辺



昭和24年頃の安浦駅前。安浦海兵団兵舎跡に広島女子高等師範学校が移転した頃の風景。





跡条川から向野原を望む。日の出木工の建物が見える程度で、周りは田園と山しかない 【昭和43年】

